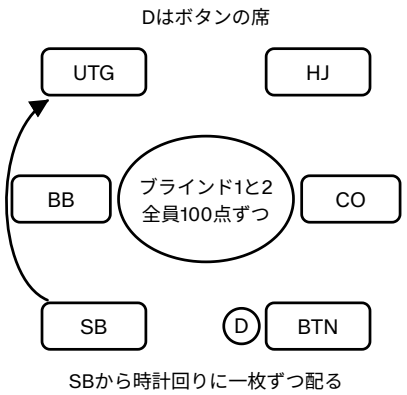
テキサスホールデム：
初めてのハンドを配ってプレイ

ノーリミットのテキサスホールデム、ブラインド1/2、金銭的な価値のない点数。



テーブルの準備

- トランプからジョーカーを抜いて52枚にし、ボタン代わりのものを用意します。
- 「1」のチップを80枚、「5」のチップを140枚数えて用意します。
- 全員に「1」を十枚と「5」を十八枚、計100点ずつ配ります。
- 余った「1」の20枚と「5」の32枚は、両替用に真ん中に置きます。
- チップの色だけでは何の意味もないので、二つの点数を全員から見える場所に書いておきます。

一つのハンドを順番どおりに配る

1. シャッフルしてカットしてもらい、このハンドを配る席の前にボタンを置きます。
2. カードを一枚も配る前に、スモールブラインドが1、ビッグブラインドが2を出します。
3. スモールブラインドから時計回りに一枚ずつ伏せて配り、全員に二枚行き渡るまで続けます。
4. フロップ前のベッティングは、ビッグブラインドの左から始まります。まだアクションできる全員がアクションし、最大のベットに合わせるまで続き、誰もレイズしていなくても、ビッグブラインドにはレイズのオプションが残ります。
5. 一番上のカードを伏せてバーンし、三枚を表にします。これがフロップです。ここからは、ボタンの左から時計回りに見て、まだハンドに残っている最初の人が先にアクションします。
6. もう一度バーンし、フロップの横に四枚目のカードを表向きに出します。続いて、またベッティングラウンドです。
7. 最後のバーンをして、五枚目の共通のカードを出します。このあとのベッティングラウンドが最後です。
8. ポットを勝者に渡し、カードを回収して、ボタンを時計回りに次の席へ回します。

まだ誰もベットしていない

まだ誰もベットしていないので、チェックかベットができます。フォールドもルール上は可能で、そうするとハンドを降りることになります。

ベットされている

ベットされたら、フォールド、コール、レイズができます。前回のアクション以降、フルレイズ未満のオールインしか上乗せがなければ、コールかフォールドのみです。

ヘッズアップでは順番が変わります。ボタンがスモールブラインドの1、相手がビッグブラインドの2を出し、ボタンには最後に配るので、最初のカードは相手に行きます。ボタンはフロップ前は最初に、フロップ後は常に最後にアクションします。

何が何に勝つか（強い順）

1	ロイヤルフラッシュ	A♠	K♠	Q♠	J♠	10♠
2	ストレートフラッシュ	9♥	8♥	7♥	6♥	5♥
3	フォーカード	8♠	8♥	8♦	8♣	K♦
4	フルハウス	Q♣	Q♥	Q♠	9♦	9♣
5	フラッシュ	K♦	J♦	8♦	5♦	2♦
6	ストレート	9♣	8♦	7♠	6♥	5♣
7	スリーカード	7♥	7♦	7♣	K♠	4♦
8	ツーペア	J♣	J♦	4♠	4♥	A♣
9	ワンペア	10♠	10♥	A♣	7♦	3♠
10	ハイカード	A♥	K♣	9♦	6♠	2♥

ハンドは必ずちょうど五枚で、使える七枚のうち最強の五枚で勝負します。二人が同じペアを作ったときは、ペア以外の三枚を高い順に比べ、最初に違いが出たカードで決まります。この三枚がキッカーです。五枚すべてを比べても同じならポットを分け、六枚目のカードで勝敗が分かれることはありません。

一つのハンド：配りからショーダウンまで

pokerskill

六つの席、全員100点ずつ、ブラインドは1と2。

ストリートごとのポット

ストリート	プレイヤーのアクション	ポット
ブラインド	カードを配る前に、SBが1、BBが2を出します。	3
プリフロップ	UTGとHJがフォールドし、COが2をコールします。BTNが6にレイズし、このストリートで合わせる額は6になります。SBとBBがフォールドし、COが4を足して6に合わせます。	15
フロップ Q♠ 8♥ 3♣	ここからはCOが先にアクションし、チェックします。BTNが15のポットに10をベットし、COが10をコールします。	35
ターン 2♦	COがチェックし、BTNもチェックバックします。ポットには何も入りません。	35
リバー 7♠	COが12をベットし、BTNが12をコールします。二人ともアクションを終えてベットが揃ったので、ベッティングは終わりです。	59

ボード Q♠ 8♥ 3♣ 2♦ 7♠　BTN A♥ Q♦　CO Q♥ 9♦

二人ともクイーンのペアです。BTNはQ♠ Q♦ A♥ 8♥ 7♠を、COはQ♠ Q♥ 9♦ 8♥ 7♠を使います。三枚目のカードでBTNのエースがCOのナインより高いので、**BTNが59を獲得します。**

フルレイズ未満のオールインでは、ベッティングは再開されません。ブラインドは1と2。Aが6にレイズ、Bが6をコール、Cが8でオールイン。Cが増やした2は直前のフルレイズの4に届かないので、Aはあと2を求められ、コールかフォールドができます。

スタックが尽きると、ポットが分かれる

このハンドで四人がチップを出しました。Aは20、Bは50、Cは80、Dはフォールドする前に10を出しました。

ボード K♣ 9♥ 7♦ 4♠ 2♣　A K♦ K♥　B A♠ A♥　C Q♥ Q♠

ポット	点数	獲得できる人	勝つ人
メインポット	70	A、B、C	A（キングのスリーカード）
サイドポット	60	BとC	B（エースのペア）
戻される分	30	誰も合わせていない	Cに戻る

メインポットは、A、B、Cそれぞれの最初の20に、Dがフォールドして残した10を足した70です。サイドポットは、BとCがそれぞれ20を超えて出した30ずつで、60です。

Tournament Directors Associationのルール

同協会が2024年に公開したバージョン1.0です。ここでのミスディールとオールインのルールはこれに基づき、大会が採用すればフロアも従います。

ポーカールーム独自のハウスルール

各ルームのリングゲームに適用され、端数チップなどの扱いを定めます。有効なのはそのルーム内だけです。PokerStars Liveのリングゲームのルールが公開例の一つです。

Robert's Rules of Poker

第11版は、表になったホールカード一枚の取り替えなど、ホームゲームの手順のもとになった、より古い参考資料です。独自のルールを公開しているルームは、そちらに従います。

コードをスキャンして、無料で練習できるPoker Skillアプリを開きましょう。

このようなハンドをプレイすると、よりよいラインをアプリが教えてくれます。

確認問題つきのガイド全文はこちら：

https://www.pokerskill.com/ja/blog/how-to-play-poker/